



蔵王山



今の努力、苦労は、全て未来の自分につながっている 自分のゴールは、もっと先にある！

今年度もあとわずかになりました。2月には、今年度の学習のまとめとして12月に実施した標準学力テストの結果をお返ししました。また、今学期末には「あゆみ」をわたします。学習のまとめ、1年間の振り返りを通し、自分の成長をしっかりと確認することが、前に進んでいくことにつながると思います。

1年間、蔵王小学校のみなさんはいろいろなことにチャレンジしてきました。大きく大きく成長しました。しかし、みんな、全てが希望通り、思ったような結果につながったわけではありません。むしろ、一生懸命がんばっても思うようにならないことの方が多かったのではないかと思います。しかし、今の努力、苦労、そしてくやしさは、必ず未来の自分の糧になります。思うような結果でない時こそ、自分のもっと先にあるゴールを見て、今、何をするか考えることができる時ではないかと思います。

もうすぐ春を迎えます。寒い冬を越えてやっと草花が芽吹きます。その頃には、6年生は卒業、中学校進学の時を迎えます。特に6年生のみなさんのこれまでの日々は、必ず、中学校での力、そして、もっと先の自分のゴールに向かう力になります。それだけがんばってきましたし、お互い励まし合う仲間がいるからです。

春を迎える準備：学校ばら園の剪定作業

2月は、バラを強剪定する時期です。今回の剪定では、春にきれいな花をたくさん咲かせるよう、鉛筆程度の太さの枝は切り落とし、全体を最初の3分の1程度の高さにしました。また、今回は初めて5年生が剪定ばさみを持ち、自分で枝を切り落としました。冬のうちに手をかけるからこそ、春にきれいな花が咲きます。子どもたちが剪定したバラに、春、きれいな花がたくさん咲くことを楽しみにしています。

今回も、バラの学校支援委員さん方が、事前の準備も含め、いろいろなお世話をしてくださいました。ありがとうございました。



一人一人がハサミをもち、トゲに気をつけながら剪定しました。

蔵王はね踊り保存会で伝統を引き継いでいる子どもたちが、 福山市善行児童生徒顕彰式で表彰されました。

蔵王小学校の子どもたちは、蔵王のはね踊りに誇りをもっています。今年度から5、6年生が総合的な学習の時間にはね踊りの継承を行い、地域でも、学校でも地域の伝統と思いを受け継いでいます。しかも、子どもたちが心からはね踊りを誇りに思って継承している姿が、本当にすばらしく、それが今回の表彰につながりました。

2月には、校内で日本の伝統音楽の鑑賞を題材にした3年生音楽の研究授業を行い、祇園ばやし、神田ばやしなどと合わせて蔵王はね踊りの音楽を鑑賞し、そのよさを比較しました。その授業の中でも、子どもたちは「はね踊りの音楽が好き。そのよさをみんなに伝えたい。」と、何人もが言ってました。地域にねぎし、地域を誇りに思い、地域の中で育っていく子どもたちは、将来、どのような場所で生活しようと、芯のしっかりした人になると思います。

とても頼もしい蔵王小学校の子どもたちです！



6年生 和田琉希君が代表で顕彰式に参列しました。（ありがとうございました。）

はね踊りの発表会後の、はね踊り支援委員の皆様と6年生の記念写真（5年生は片づけ中でした。）



蔵王小学校が、第41回西日本新春書道展 最優秀校に選ばれました

12月に全校で取り組み、出品した、第41回西日本新春書道展において、蔵王小学校が最高賞である最優秀校に選ばれました。しかも、県知事賞、福山市教育委員会賞などに選ばれる優秀な作品もたくさんありました。今回の受賞も、蔵王小学校全体のチームとしての受賞です。みんなで真剣に書に向き合って取り組んだからこそ、一人一人が最大の力を出せたのだと思います。

蔵王小学校の子どもたちが、いろいろな場で認められることは、本当にうれしいことです。日々の学びが繋がっているのだと思います。

最優秀校の旗が蔵王小学校へ贈られました。
学校の正面玄関に飾っています。



学校だより「蔵王山」11号の発行が大変遅くなり、申し訳ありませんでした。うれしいお知らせをお伝えするのが遅くなった間にも、また、蔵王小学校の子どもたちの素敵な姿がたくさんありました。次号をお楽しみに。